

防災とまちづくり
をつなげる

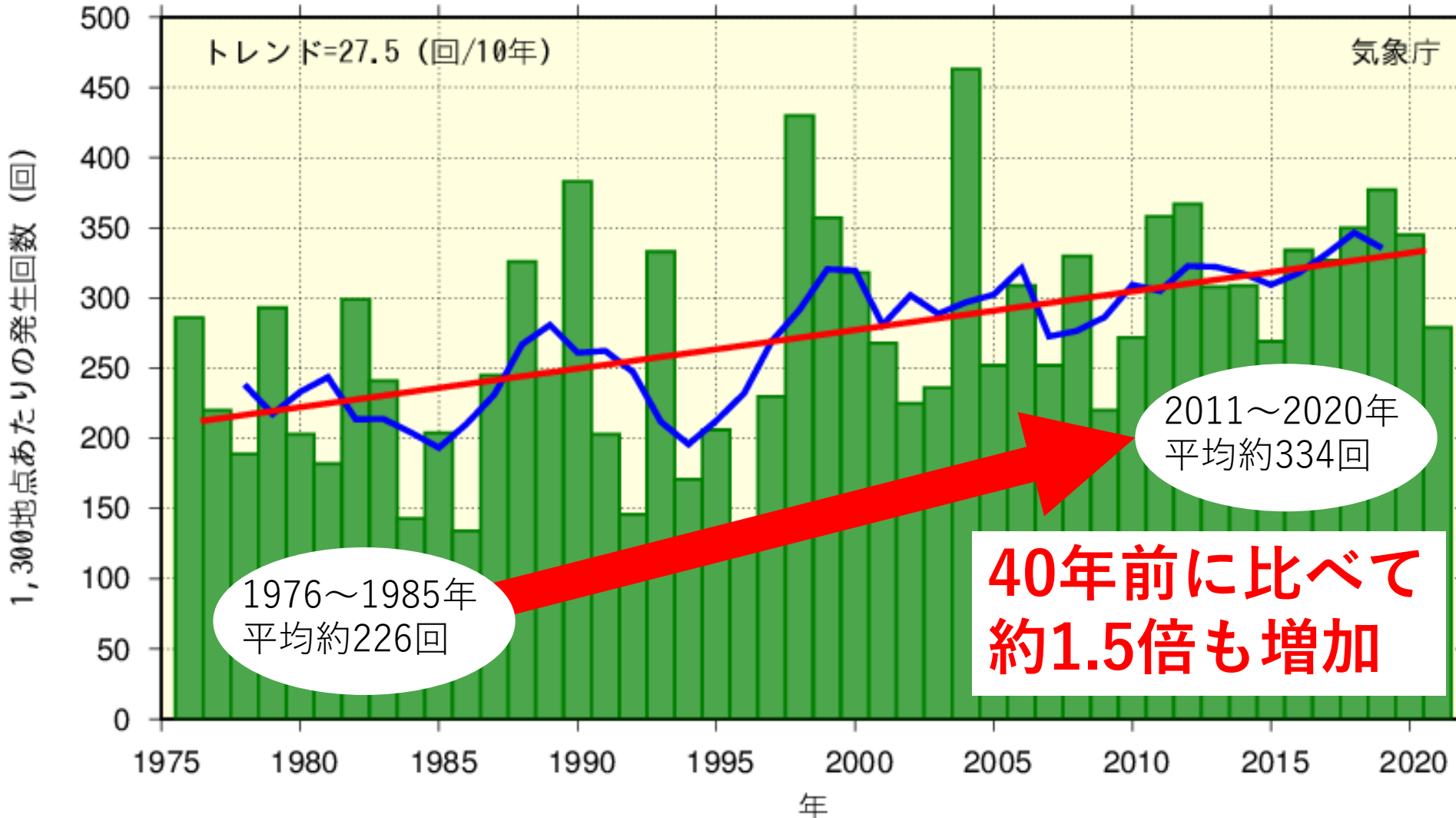


共助



大規模水害が頻発

1時間当たりの降水量50mm以上の発生回数



▲八幡5丁目付近



▲鬼高3丁目付近

課題

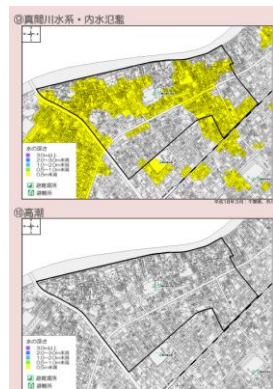
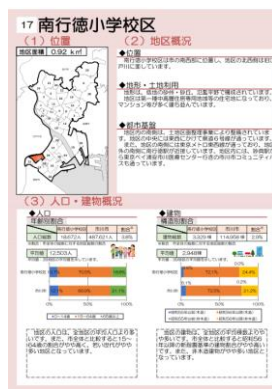
- ・防災行政無線が**聞こえない・聞こえづらい**
- ・**1丁目1番地**に必要な**情報を得る手段が無い**
- ・**近所・マンション住民**と**情報共有**・防災活動できてない
- ・市川市が配布している資料を**知らない・理解していない**

別紙 市川市 水害ハザードマップ

避難所・避難場所一覧の見方

No	施設名	海拔 (m)	江戸川	奥州川	高津	校舎	校庭
1	大町小学校	24.2	○	○	○	○	○

①表の番号は、地図に記載された避難所・避難場所の番号と一致しています。
②避難所・避難場所に指定されている施設名と海拔です。※避難所は緑色に網掛け
③避難所・避難場所が使用可能か、水害の種類ごとに記載しています。
○：使用可能（状況に応じて上階へ避難が必要な場合もあります）
○：使用不可
④河川や水路に雨水の流出を抑制するために、校庭などに雨水を貯留する施設です。
水害の場合、げけ・増水した川・海岸付近の避難所は開設されない場合があります。
その時の状況に応じて、市が指定する避難所をご活用ください。



「地区防災計画」作成の手引き

市川市

令和元年 5月



住民自らのアクションで被害最小限に

国立国会図書館
2018.07.23

14年70人超犠牲 広島・安佐北、南区

「早めの避難」教訓生きた

意識変化、人的被害なし

西日本豪雨が襲った広島市の安佐北、安佐南区の5地区では、2014年8月1年前の教訓を受けた自主防

災の取り組みが早めの避難につながり、今回の豪雨で人的被害はなかった。住民は「行政任せにせず、自分たちで防災に取り組む意識に変わった」と話す。

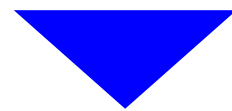
5地区のうちの一つ、安佐南区の「八木・緑井」地区では、住民による自主防災会連合会が独自に危険箇所や避難経路を調べた防災地図を作り、約5千世帯に配るなど住民の防災意識を高めてきた。

人的被害がなかった5地区

5地区のうちの一つ、安佐南区の「八木・緑井」地区では、住民による自主防災会連合会が独自に危険箇所や避難経路を調べた防災地図を作り、約5千世帯に配るなど住民の防災意識を高めてきた。

- ・自ら防災マップ作成
- ・雨量計や安否確認システムを自ら導入

「行政任せにしない
自ら防災に取り組む」



2018年7月
人的被害のない5地区

防災

災害時周知能力UP
行動力UP

平時
防災意識UP

住民・企業
コミュニケーションUP
防災ハウツー共有

共
トモ

まちづくり

住民自らイベント
観光資源づくり

地域特性アピール
「祭のまち 行徳」

平時 住民・企業
情報共有の場増える

助
スケ

自己紹介



2週間に渡るトリノ・オリンピックのサウンドを支え続けた現地スタッフたち。お疲れさまでした

出典：PROSOUND

**トリノ・北京・バンクーバー五輪
競技会場の音響システム設計**



出典：PRG HPより

**テーマパークやTV・コンサート
エンタメ業界**

音響・映像・照明のプロマネ



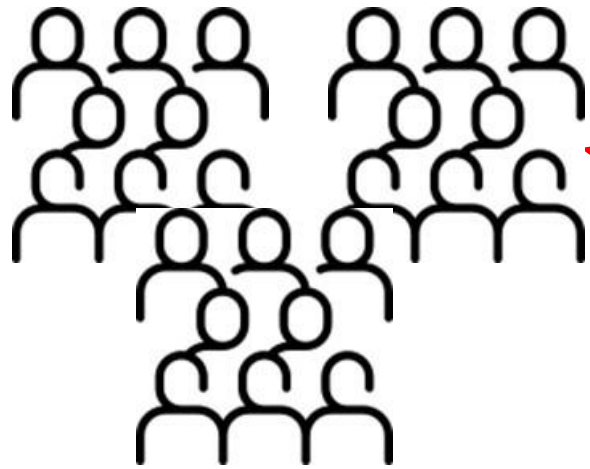
出典：ARI、日本音響エンジニアリングHPより

**文京区や豊島区の防災行政無線
実測や音響シミュレーション改善提案**

防災行政無線

防災行政無線 186カ所から

→ **208**カ所(2016年)



住民
工業地域

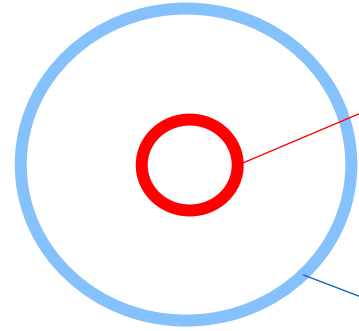


防災行政無線が
聞こえない
聞きづらい

防災行政無線 なぜ聞こえない？



※Google Earth



SPから100m
大雨 やっと聞こえる
*86dB

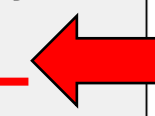
SPから400m
晴れなら聞こえる
*74dB

※音源最大音圧レベル126dB想定

騒音レベル(dB)

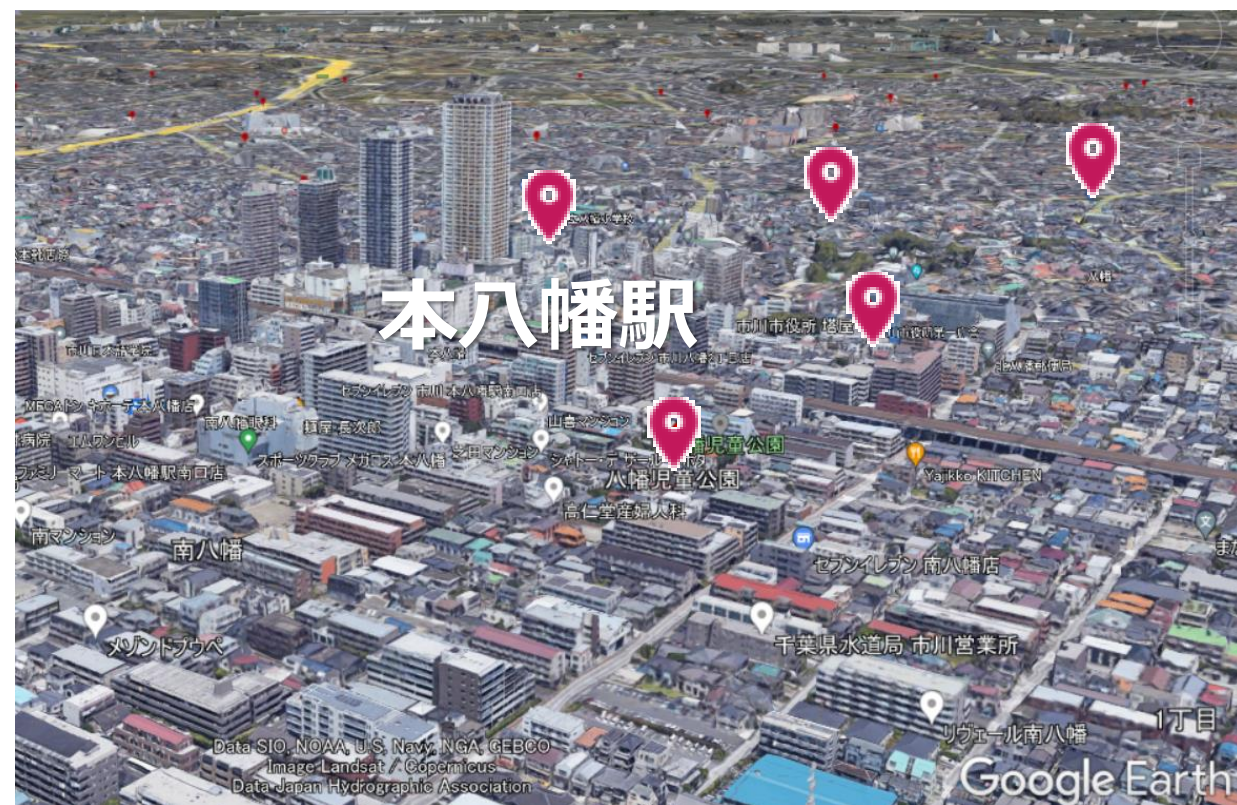
<p>120~100</p> <p>極めてうるさい状態</p>	<p>車の警笛音 電車が通るガード下</p>
<p>100~80</p> <p>会話できない状態</p>	<p>建築工事現場内 地下鉄車両内 大雨の傘の下</p>
<p>80~60</p>	<p>バスの走行音 掃除機・洗濯機動作音</p>

大雨の傘の下
約89dB



防災行政無線 なぜ聞こえない？

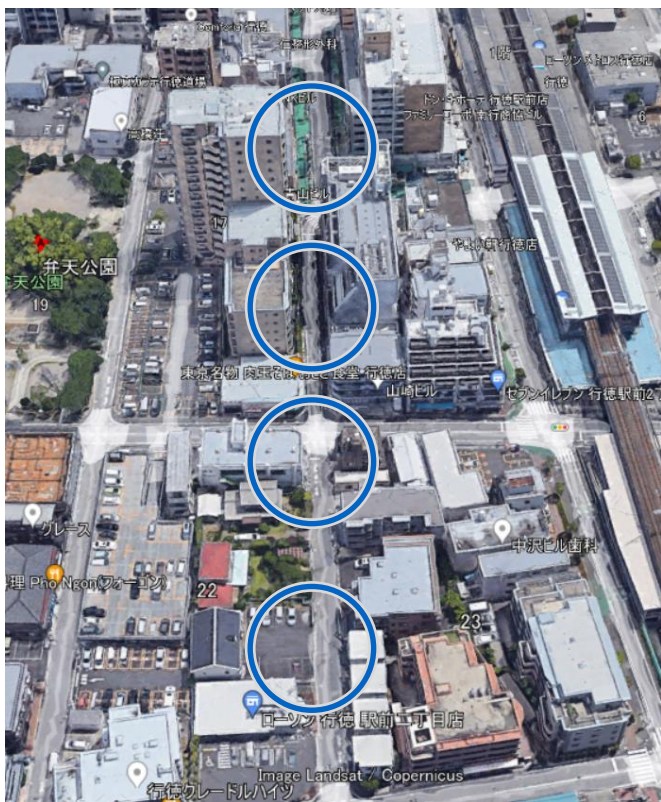
都市化で **商業施設とマンション** 増えた



解決案

- ・防災行政無線が聞こえない・聞こえづらい
- ・1丁目1番地に必要な情報を得る手段が無い

防犯灯隣にスピーカー設置



※Google Earth



運用イメージ



平時

日々使える防災心得
避難経路や危ない場所
祭囃子や盆踊りBGM **地域性**
イベント情報/商店街情報
地域性に応じた言語選択

有時

コミュニティFMで市川市からの放送
1丁目1番地で必要な情報を放送 **地域性**

解決案

- ・近所・マンション住民と情報共有・防災活動
 - ・市川市配布資料を知らない・理解していない
- ➡ 定期的な防災活動で学ぶ



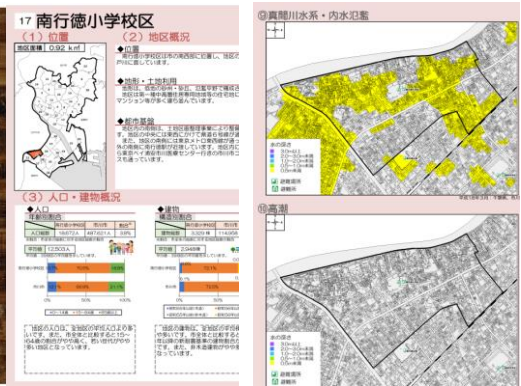
※千葉商科大学「サバイバルキャンプ」



※車バイバル



※BOUSAI FARM



※防災カルテ

地図化



班編成

編成名	組織の基本的な班編成	
	日常の役割	災害時の役割
総務班	全体調整 後援団との連絡調整 災害時要援者の把握	全体調整 他機関との連絡調整 被害・避難状況の全体把握
情報班	情報の収集・伝達 広報活動	状況把握 報告活動
消火班	器具の検 防火広報	初期消火活動
救出・救護班	避難訓練・整備	傷病者等の救出 救護活動
避難誘導班	避難経路(用)・確認点検	住民の避難誘導活動
給食・給水班		水・食料等の配分 炊き出し等の給食・給水活動



活動計画



防災

災害時周知能力UP
行動力UP

平時
防災意識UP

住民・企業
コミュニケーションUP
防災ハウツー共有

共
トモ

まちづくり

住民自らイベント
観光資源づくり

地域特性アピール
「祭のまち 行徳」

平時 住民・企業
情報共有の場増える

助
スケ

地域特性を活かした トモスケ 【行徳】



祭で出前訓練
学ぶ・教える

伝承館・神輿ミュージアム



組織の基本的な班編成

班名	班の役割	班の役割
防災計画	避難誘導	避難物の搬入・搬出
組織づくり	避難経路(所)・備置点検	住民の避難誘導活動
避難誘導班	→	→
給食・給水班	→	→



浸水・液状化
どこへ避難？

知る「まつり」



地域特性を活かした トモスケ 【国府台】



大学でワークショップ
学ぶ・教える

University Dining



サステナブルファーム
体験ツアー
in KURKKU FIELDS



テーマ「教育」

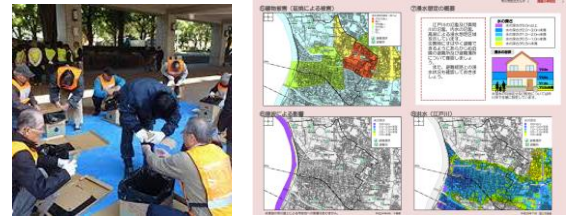


学生と地域
関連放送

組織の基本的な班編成

編成班名	日常の役割	災害時の役割
避難誘導班	避難経路(所)・備品点検	住民の避難誘導活動
給食・給水班	備品の点検	水、食料等の配分 炊き出し等の給食・給水活動

防災計画
組織づくり



土砂災害
真間川

トモスケビジョン

1. 地域同士コミュニケーション

トモスケスピーカーを使って他の市内の地域へ
自分たちの地域情報や防災取組を発信

2. 害鳥退治

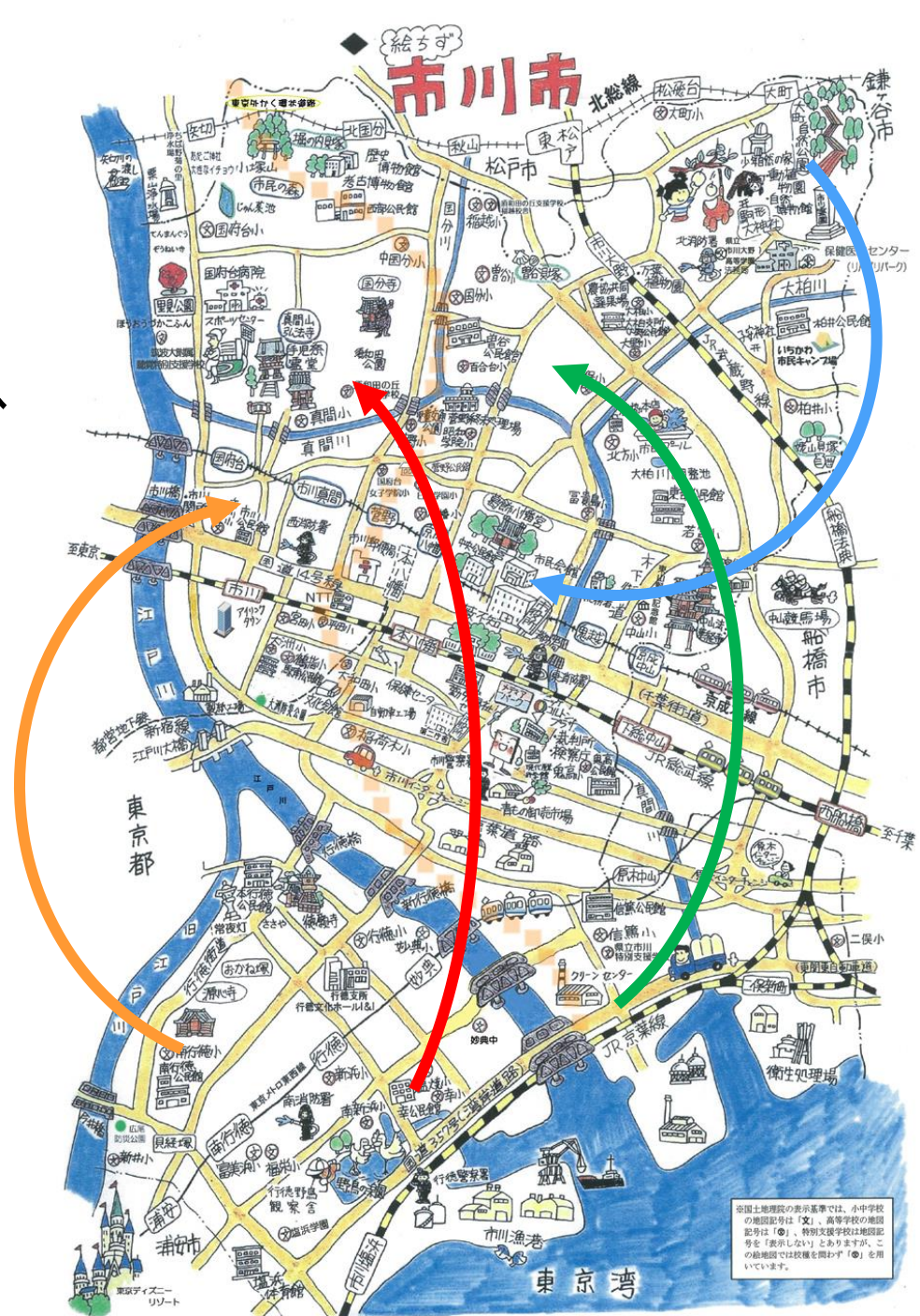
ゴミ収集所に寄るカラスを寄せつけない

3. AIカメラで災害時モニター

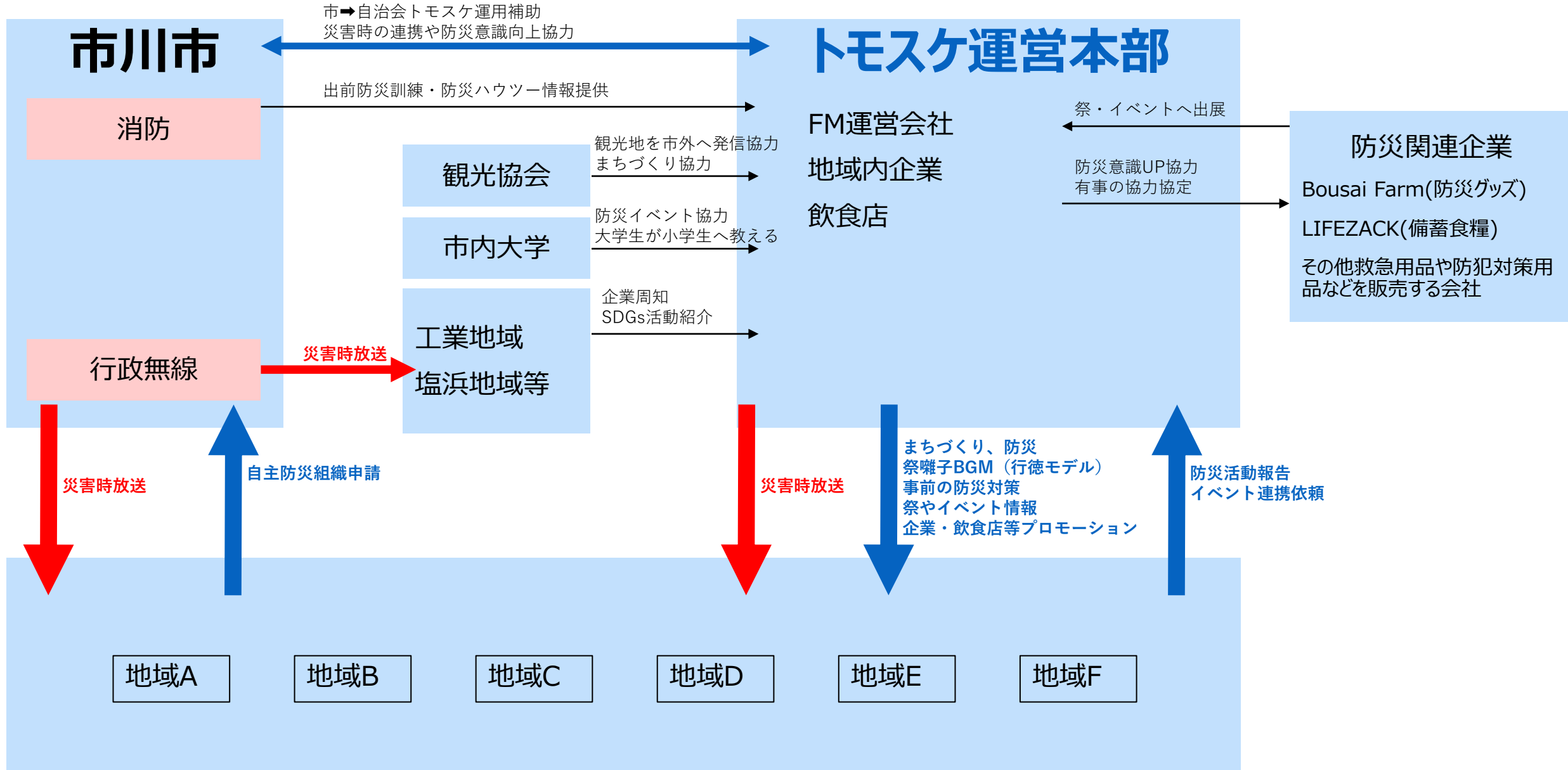
災害本部の災害時の遠隔確認
防犯抑制も

4. 市川モデルとして発信！

他自治体でも採用



協力体制



**ご清聴
ありがとうございました**

Q & A

行徳